

かささぎ



北京日本人学校
学校通信 12月号
平成27年12月25日
校長 奥田 修也

あなたの夢はなんですか？

北京日本人学校校長 奥田修也

2015年もあとわずかになりました。中国の新年は春節で今回は2月ですが、日本では1月1日が元旦。そして、2日の夜にみるのが初夢です。一富士二鷹三茄子、よい初夢をご覧になりたいと思っている方もいらっしゃるでしょう。

ところで、私は夢はみるものではなく叶えるものと思っています。先日中学部3年生の一部の人に入試の面接練習をしましたが、その中で将来就きたい仕事についても聞いてみました。まだ模索中の人もいましたが、中には明確な目標を持ち、それに向かって進んでいこうとしている人もいて、とても頼もしく思いました。北京日本人学校の子どもたちには、ぜひ、夢を持ち、その夢を目標にして努力し、それを叶えてほしいと願います。もし叶わなくても、その過程はきっと将来に役立つものになるでしょう。

雑誌や新聞等で、各界で活躍している人が子どものときに夢や目標を持っていて、それに向かって努力したということがよく紹介されます。そういう人は、時にはあきらめたり方向転換したりしても、その時々新たな夢や目標を設定しています。夢や目標に向かって努力し続ける姿勢がその人を成長させ、確固たる成果を生み出していくのです。

以下は私自身の「夢」についての一文です。

私は小学生の頃、電車の運転士になりたかったです。家の近くを私鉄電車が走っていて、乗るときはいつも先頭車両の一番前。運転手さんのやっていることがよく見えたので。でも、なぜか、なりません。中学生の頃は、コックさんになりたかった。料理が好きで、自分でも上手だと思っていたので。でも、なぜか母親と先生に猛反対されて・・・なりません。高校と大学の頃は、大好きなサッカーで生きて行けたら、と思い、いっしょうけんめい練習していました。でも、その頃は日本にプロなんかなかったし、そこまでの実力もなかったのですよ。で、結局学校に勤めることになったのです。まあ、今の自分の仕事は大好きなので、それはそれでよかったのですが。

こういうふうに思い出してみると、私の夢はそのときそのとき、少しずつ変わってきたようです。ひとつの夢を追い続けて着実に生きていく生き方は素晴らしいですね。自分でもそうできたらいいなあと思います。でも、自分の人生は1回しかない自分だけのもの。思う通りにやってこそ幸せに感じるのだとも。小中学生の皆さんにも、ある年齢になったとき、自分の人生もけっこうよかったなあ、と振り返ることができるように、せいっぱい生きてほしいと思います。夢をもって前向きに。

さて、〇〇をとうに過ぎた今になっても、私の夢は尽きません。それに向かって日々がんばっているつもりです。

現在の夢はね・・・

ミランの10番本田くん、叩か
れているけど、ミランにいる
だけでもスゴイことだと思う
よ。



今、子どもたちには、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力が求められています。各ご家庭でも将来就きたい仕事も含めた夢や希望についていろいろな会話が交わされているものと思います。目的意識を高く持った子ほど確かな成長をするものです。子どもの着実な成長は何気ない日々の努力の積み重ねによって成し遂げられるのです。

学習発表会を終えて

11月20日(金)に、小学部学習発表会が行われました。各学年、国慶節頃から練習に取り組んできました。それぞれ学習の成果をしっかりと発表することができました。

1年生は、国語科で学習した「おむすびころりん」を音読、群読、歌で発表しました。「ざらざら」と「ざくざく」の2グループが、お互いの声のバランスを調整しながら同時に言うという難しい発表をすることができました。2年生は、国語科で学習した「スイミー」を音楽劇にして発表しました。劇の終わりには、スイミーと同じように仲間と協力し合って大きな魚の形を作ることに成功しました。3年生は、各教科で学んだことを発表しました。「ゆめに向かって」子どもたち一人ひとりがもつパワーを発揮し、迫力のある発表となりました。4年生は、3年生までに学んだことから視野を広げ、地球の問題や国際協力について学んだことを発表しました。十歳の節目にふさわしい堂々とした発表でした。5年生は、毎日の生活や学校行事の中で学んできた「みんなで力を合わせることや助け合うこと」を合唱と合奏で発表しました。5年生全員の気持ちが1つになった迫力ある合奏でした。小学校生活最後の発表会となった6年生は、合奏「エルクンバンチェロ」合唱「ふるさと」を発表しました。とてもきれいな歌声と息のあった合奏からは、最高学年であるという気持ちが伝わってきました。

どの学年も練習の成果を発揮し、力いっぱい発表することができました。この経験を通して、さらに一歩成長した小学部の子どもたちでした。

小学部



鑑賞教室を終えて

11月27日(金)に、鑑賞教室が行われました。今年は「京劇」でした。「白蛇伝」、「拾玉鐲」、「西遊記」3つの演目を鑑賞しました。京劇はしぐさが中心の御芝居なので言葉があまりわからなくても楽しむことができます。会場では「おお〜。」「ええ〜。」という声は何回も沸き上がり、拍手が鳴り響きました。児童・生徒が京劇体験をする交流も行われました。孫悟空の棒回しをしたり、立ち回りをしたり、京劇の難しさや楽しさを実感しました。京劇のメイク体験をした児童・生徒からは、自分の顔を見るのが楽しみとの声もありました。これらの鑑賞を通じて、子どもたちは中国の伝統芸能の素晴らしさを感じることができるのではないかと思います。学校での鑑賞は、中国文化の一部を鑑賞したにすぎませんが、今後さらに中国文化を知ろうとする意欲をもつ上での足掛かりになってほしいと願っています。

学習部



国際弁論大会を終えて

11月28日(土)に、本校体育館において、北京市月壇中学と本校との交流弁論大会が開催されました。今年は、本校会場ということで前日に中学部全員で会場設営を行い、当日を迎えました。

弁士として頑張った6人は一ヶ月という短い期間の中でしたが、中国語担当の先生方の指導の下、真面目に練習に取り組み、当日は中国語で立派に発表できました。

グループ交流では、実行委員を中心として準備をすすめ、発表を行いました。自分の国の文化や習慣を中国語で紹介したり、相手にクイズを出してみたり、グループごとに試行錯誤しながら、皆が国際親善大使となり取り組むことができました。弁論発表や交流活動グループ討議を通して、両国の若者が考えていることの共通点や違いについて知る機会を得たことが、何よりの成果だと感じています。来年度は、月壇中学の主催となります。どうぞ宜しくお願いします。

中学部

ただいま 何人?

小学部			平成27年12月25日現在				
	男子	女子	合計		男子	女子	合計
1-1	11	10	21	4-1	11	13	24
1-2	12	9	21	4-2	10	14	24
1-3	12	9	21	5-1	13	12	25
2-1	12	14	26	5-2	14	13	27
2-2	12	15	27	6-1	9	10	19
3-1	15	13	28	6-2	8	10	18
3-2	14	12	26	小総計	153	154	307

中学部							
	男子	女子	合計		男子	女子	合計
1-1	12	9	21	3-1	8	5	13
1-2	13	8	21	3-2	8	5	13
2-1	6	9	15	中総計	53	45	98
2-2	6	9	15	総合計	206	199	405



グループ交流で日本の遊びを実際に体験している様子